

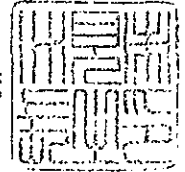


建 第 2 2 8 号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

氷見市長 堂 故

茂



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

国道企第37号で依頼のあったことについては、別紙のとおりです。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- 1 地域間格差是正の観点から、大都市に比べ遅れている地方の道路整備に必要な財源を確保し、地方の道路整備を推進すること。
- 2 地方が自主的に使える地方道路整備臨時交付金制度等の仕組みを維持し、さらに拡充していくこと。
特に、この交付金制度を住民の生活に密着した生活道路の整備や地方の道路の維持・補修も対象となるよう拡充すること。
- 3 財政力の脆弱な自治体の負担軽減を図るため、地方道路整備臨時貸付金の制度を継続していくこと。

○現状

道路は、住居が面する生活道路から都市間を結ぶ高規格幹線道路まで、巨大な連続空間として、市民の日常生活や経済活動に欠かすことのできない最も基本的な社会資本を形成している。

しかし、本市では、高規格幹線道路の能越自動車道をはじめとして、地域の連携に資する一般国道や地方道の整備はまだまだ不十分である。

とりわけ、本市は狭い山間部が市域の大部分を占めていることから、道路の整備率は県下でも低い状況にある。

また、防災面からは、国道160号については数田以北において、雨量規制区間が存在し、また、国道415号については平成14年に約1ヶ月間通行止め（地すべり危険性のため）なっただけである。幹線道路の災害に強い機能強化や緊急時に必要な代替路の整備が求められている。

○課題

- 1 能越自動車道の整備促進
地域間交流・連携の促進や交流人口の拡大などの観点から、能越自動車道及びそのアクセス道路の早期整備が必要である。
- 2 国道415号の整備促進
能越自動車道水見ICから石川県側については、狭隘で屈曲した箇所が多く、交通事故が多発している状況にあることから、早期の整備促進が必要である。
- 3 国道160号の整備促進
数田以北の区間で行われる連続雨量による交通規制や事故危険箇所の存在は、市民生活や防災活動に大きな障害となっていることから、その解消のための道路整備が必要である。
- 4 生活道路の整備促進
市域の大半が中山間丘陵地である本市にとって、地方道は、生活道路として大きな役割を果たしていることから、改良工事等の整備促進が必要である。
- 5 道路の維持補修
市が管理する道路の維持管理費は年々増大し、そのほとんどを一般財源でまかなっていることから、道路の維持・補修に十分な経費を充てることができず、地域住民及び道路利用者の安全確保に支障が出かねない状況である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

富山県氷見市

②ー２ 地域の目指すべき将来像

富山県西部地域・能登地域と三大都市圏との高速交通体系を確立し、産業・経済・文化の発展に寄与する「能越自動車道」の整備促進を図るとともに、国道・県道等の幹線道路を体系的に整備し、活力ある地域社会の形成と安全で快適な生活環境を確保する。

また、地域の特色を生かし、うるおいとやさしさを実感できる生活道路づくりを目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

富山県氷見市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・活力ある地域社会の形成	・能越自動車道（七尾氷見道路）の整備促進及び追加 I C（惣領地区）の設置 ・国道 4 1 5 号谷屋大野間の整備促進	・観光交流人口の拡大及び企業誘致の促進等 ・災害時における緊急輸送、救急医療など市民の安全の保障	
・安全で快適な生活環境の確保	・国道 1 6 0 号の整備促進（防災工事、交通安全施設等整備） ・住民生活に密着した生活道路の整備及びその維持補修等を推進する。 （現在、市民から最も要望のある、集落内道路の整備やその維持補修等を推進する。また、これらが、交付金制度の対象となるよう、国に強く要望していく。）	・企業誘致の促進等 ・交通事故の防止、災害時における安全の保障等 ・交通事故の防止、災害時における安全の保障 ・道路利用者の利便性の向上 ・地域住民・道路利用者の安全性・利便性の向上及び交通事故の防止等	